

2026年9月28日

国際原子力機関 (IAEA) による 「東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電 所に保管されているALPS処理水の取扱いに関するIAEA安全 性レビュー（海洋環境中の放射性核種分析における第3回 目の分析機関間比較結果）」に関する報告書の公表

国際原子力機関(IAEA)では、2022年から、IAEAとの間で2021年（令和3年）7月に署名されたALPS処理水の取扱いの安全面のレビューに関する付託事項に基づき、ALPS処理水に係る海域モニタリングの結果を裏付けることを目的とした分析機関間比較(ILC: Interlaboratory Comparison)を実施しています。本事業では、東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所(1F)周辺の海洋試料をIAEAと日本政府は共同で採取し、IAEA及び日本の各分析機関が個別に分析を行い、IAEAが分析結果の比較評価を行っています。

今般IAEAが、第3回目のILCの結果に関する報告書を公表しましたので、お知らせします。同報告書は2024年に採取した試料の分析結果等をまとめたものであり、IAEAが選出した中国、韓国及びスイスのALMERA¹メンバーの分析機関も参加しました。IAEAは報告書の中で、日本の試料採取手順が、代表的な試料を採取するために必要である適切な基準を遵守していることを確認するとともに第3回目のILC及び過去のILCで得られた正確な分析結果から、ALPS処理水の放出に関する総合モニタリング計画の一環として、海洋試料中の放射性核種の環境モニタリング分析に関わる日本の分析機関の高い能力を示しています。

また、これらの結果は、定常的なモニタリングとも一致しており、1F周辺の海洋環境の放射性核種濃度が引き続き低く安定していることを示しています。

¹ ALMERA (Analytical Laboratories for the Measurement of Environmental Radioactivity)は、環境試料中の放射性核種測定的能力を維持・発展させるため、IAEAにより調整される世界の203の加盟分析機関で構成され、1995年に設立されたネットワークです。

- 東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所に保管されているALPS処理水の取扱いに関するIAEA安全性レビュー（海洋環境中の放射性核種分析における第3回目の分析機関間比較結果）
 - ◆ 報告書全文(英文)

[third-interlaboratory-comparison-on-the-determination-of-radionuclides-in-the-marine-environment.pdf](#)

以上

《担当》

【海水・海底土試料の分析に関すること】

原子力規制庁 放射線防護グループ 監視情報課

担当：谷、川辺、鈴木、友岡、神田

電話：03-3581-3352(代表)

03-5114-2125(直通)

【水生生物、魚類及び海藻類試料の分析に関すること】

環境省 水・大気環境局 海洋環境課

担当：二平、足立

電話：03-3581-3351(代表)

03-5521-8306(直通)

【水産物試料の分析に関すること】

水産庁 増殖推進部 研究指導課

担当：小川、帰山

電話：03-3502-8111(代表)

(内線6782)

03-6744-2030(直通)

【IAEAとの協力に関すること】

外務省 軍縮不拡散・科学部 国際原子力協力室

担当：金田、内藤、川口

電話：03-5501-8227(代表)